

## 支援事業終了報告

### えべつ式土器づくり体験会

NPO法人えべつ江北まちづくり会 三角 晴美

江別市都市と農村の交流センター「えみくる」にて、江別土器の会のメンバーを講師に、「えべつ式土器づくり体験会」を令和6年秋に開催しました。

「えべつ式土器づくり体験会」は、江別のレンガ粘土で自由に土器を製作することで、世代を超えて人と出会い、縄文ゆかりの地江別を再発見してもらうイベントです。

9月、思い思いに粘土を捏ねて、壺や花瓶、埴輪などの土器づくりに初めての方から経験のある方も、子供も大人も楽しみながら真剣に取り組みました。

出来上がった作品はホールに展示して約1ヶ月乾燥させます。後は1ヶ月後の完成をわくわく



しながら待つこととなります。10月、いよいよ野焼きの日が来ました。天気もよく野焼き日和です。

皆さん、えみくるの野焼き場に集合し、土器を恐る恐る窯に入れ、焼き上がりを見守ります。青空の下、ひんやりとした空気と火の熱さが交じり合う中、昼食の豚汁とおにぎりを食べ終わったころ、土器が出来上がりました。

冷めるのを少し我慢して、土器を取り出し、自作の土器の出来上がりに感動です。

参加費を低料金に設定でき、多数の人に楽しんでもらえたのは当協議会の支援のおかげです。本当にありがとうございました。



## 人と地域に笑顔と元気を!!

江別まっこええ&北海道情報大学 代表 柏木 真紀子



### 大乱舞 in 白老



「幸せが未来につづくまっえべつ」。これは後藤江別市長が、まちづくりを進めていく際の将来都市像にあげているフレーズです。初めて聞いた時から、とても温かく心にしみ込んで、大好きなフレーズになりました。と同時に、私たちのチームもより地域に根付いた、地域に愛されるチームとなり、その一翼を担っていきたくて強く願いながら活動を続けてまいりました。



### ジュニアまっこ講座

リズムに乗って体を動かすことの楽しさを体験してもらおうという趣旨の講座です。お陰様で、子どもたちはもちろん保護者の皆様にも多数ご参加いただき、エネルギーが豊富な時間を過ごしました。



ごしました。また、運動会でYOSAKOIソールの演舞をする小学校に出向き、指導にあたる先生方へのレクチャーや演出相談の機会もいただきました。どちらも、生き生きとした笑顔に出会い、やって良かった!との大きな喜びを共有させていただきました。

今回、江別市生涯学習推進協議会からご支援を賜り、江別市外にも飛び出して、江別市の魅力と、まっこええという市民団体の魅力を届ける役割も果たすことができました。温かなご支援のお蔭です。心よりお礼申し上げます。

これからもYOSAKOI踊りを通して、感謝の気持ちを返していけるように地域と共に歩んでいきたいです。

### 小学校への出前講座



## 江別保健所管内栄養士会

### 発足50周年と記念誌の発行

江別保健所管内栄養士会長 石井 智美 (酪農学園大学名誉教授)

本会は江別保健所管内で勤務する栄養士の組織として、食と栄養の観点から地域活動を続けてきました。1949年に江別保健所が開設され、保健所栄養士の先達の活動が始まり、1975年に江別保健所管内栄養士会となり、2024年に発足50周年を迎えました。

その半世紀の歩みを「50周年記念誌」にまとめるに当たり、江別市生涯学習推進協議会「生涯学習団体支援事業」から支援をいただきましたこと、この場をお借りして篤くお礼申し上げます。

この「50周年記念誌」には江別市長様、江別保健所長様から祝辞をいただき、心からお礼申し上げます。記念誌には本会のこれ



までの活動を紹介するとともに、中高年向けの料理講習会「男のチューボー」が開催100回を迎えたこと、「コロナ禍で会員の知恵を結集した冊子「防災食レシピ2020」を再録、「コロナ禍で栄養士は食の現場で何を考え、どのように対応をしたのかを収録しています。これらは今後、地域の食に役立つ情報となると思いま

生涯学習推進協議会の支援を受け、令和6年12月14日野幌公民館ホールにて、江別子ども劇場親子鑑賞会「山を越え川を越え」(劇団風の子北海道)を実施しました。

## 「山を越え川を越え」支援事業終了報告

江別子ども劇場 吉田 敦子

子ども劇場は、いつもは会員で観劇していますが、今回は会員による実行委員会が公演を企画し、チケットを販売して、地域の方も一緒に観られる公演として取り組みました。実行委員のアイデアで、販売する物品や来てくれた方へのプレゼントなども楽しく準備しました。しかし、インフルエンザやコロナなどが猛威を振るう時期となり、実行委員にもお客さんにも体調不良で参加できない人が多くなってしまったのがとても残念でした。

広がる想像力の世界で、子どもたちが前のめりになってその世界に入りこみ、楽しんでる様子に驚きました。公演後には新聞紙であそぶワークショップもあり、またやりたい!という声がとても嬉しかったです。

風の子さんは子どもたちの演劇を届ける老舗の劇団です。現代的な華やかさはあまりありませんが、子どもの大事な部分を育ててくれるお芝居で、小さいお子さんにもっと観てもらいたいと思っていました。今回、子ども劇場で企画することができて本当に良かったです。ご支援ありがとうございました。



## これからのイベント

### ◆江別美術協会

連絡先: 011-385-8185

### ○春季小作品展

日時: 2025年3月18日~23日 9時~17時  
場所: 野幌公民館 ギャラリー  
会員のF10号以下の小作品を展示公開。入場無料。

### ○裸婦デッサン研修

日時: 2025年8月16日 13時~15時  
場所: 野幌公民館 研修室3号  
裸婦モデルのデッサン研修(有料)。

### ◆3B体操江別サークル

連絡先: 090-1309-8129

### ○3B体操のつどい

日時: 2025年6月28日 13時~15時  
場所: 北海きたえーる  
全道の3B体操会員の交流と発表。一般の人の交流会参加で体験・発表の見学。



池坊いけばな はまなす会 笹原 邦子  
令和6年12月に「華道」は無形文化財に登録され、日本の宝となりました。

## まなぼう

Vol.26

### 「生涯の道標として」

池坊はまなす会の指導者は今年白寿を迎えましたが、その指導はいけばなの形だけを指導するのではなく、自分自身がいけばなと共に歩いてきた、その姿を見せ伝えていく事が第一と考えています。年齢的に少しずつ花鋏を持つ力も衰えています。その姿も生涯歩き続けてきた姿と見てほしい。細く長く、時々途切れても、またつながり続けるのがいけばなの道で、形ではない心の表現であるのだから。

《編集後記》  
本号の「生涯学習の今」は7回目となります。このコーナーは、生涯学習の会員でも、あまり知らないであろうこの意見もあり、会員にも知ってほしいがための企画でもありました。

しかしながら、掲載し始めて、QRコードで会員のHPを見ることで、知らなかった活動のことや、自分たちの活動への振り返りにも役に立つことがわかりました。

今後の活動に役立つこのコーナーをもっとわかりやすく、皆様に提供できるように頑張ります。

昨年、ちららフェスティバルが公民館を貸し切りにして開催されましたが、各団体の情報が、伝わりづらいとの反省もあり、今後わかりやすく伝えるにはどうするか、しっかりと検討したいと思います。

広報委員会 中村 康治

## 手話をまなぼう

今回は、「一緒に...」の会話です。



「QRコード」をスマートフォン・タブレット等のQRコードリーダーで読み取っていただくと、手話の動画がご覧になれます。

## Now 生涯学習の今

このコーナーでは、QRコードを通してよりリアルタイムな生涯学習情報をお伝えします。今回は、当協議会の会員である「NPO法人江別市文化協会」の最新の活動の様子をホームページに繋げてご紹介します。



## 生涯学習推進協議会のホームページ

生涯学習推進協議会のホームページでは、過去の各種事業の様子や、これからのイベントのスケジュールが見られます。QRコードからご覧ください。

